



学校だより

# 絆の草中

草野中学校 令和5年度第19号

令和5年10月20日

文責：校長 西田 英実

## 草中祭 いよいよ来週です！

本校の一大行事である「草中祭」まで、あと1週間と迫りました。10月27日（金）、全校生徒の日頃の学習の成果を是非ご覧ください。

内容は合唱コンクール、応援団、合唱部、生徒会実行委員会の企画。そして、日頃の教科学習の成果として技術家庭や美術、総合的な学習で学んだ防災、職場体験、班別自主研修、そしてビッグアートや装飾など展示、掲示も盛りだくさんです。

生徒達は、今年の草中祭のテーマ「虹（なないろ）～あの日の涙がきっと未来へつながる～」を旗印に一生懸命準備をしてきました。その努力の過程が生徒の姿となって表れることと思います。準備段階の生徒の様子を写真で少し紹介します。



最初は合唱隊形や声のバランスにも苦労しました



パート練習 いっぱいしました



校庭で練習した学級もあります



実行委員会もがんばりました

実行委員会本部



※内容は当日のお楽しみです

ビッグアート係 間近で見るとまさにBIG



装飾係 いろいろな飾り付けが楽しみです

## 先生達も学んでいます Part II

学びの秋。生徒がより良い学びを行うために、教員も様々な研修をしています。10月5日（木）には、「福島県中学校教育研究会いわき大会」がありました。中学校の教員の大きな研究会です。県内の先生方がいわき市へ集まり、授業改善に向けて研修をしました。本校では、「美術科」の授業研究会を行いました。保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげで滞りなく運営でき、研究協議、公開授業ともに大成功でした。授業の詳細は、本校のホームページをご覧ください。10月12日付け「スポーツの秋 そして先生も『学びの秋』」です。

ここでは、授業の様子から、特に印象に残ったことを紹介します。

今回の授業では、3年生が進路や受験、思春期の悩みなどを抱えた自分自身を見つめ直し、「今の自分、そして未来へ向かう自分」を自画像の版画を通して自己表現するというものでした。何度も色合いを変えて刷れるので、生徒一人一人が、あーでもない、こーでもない、と試行錯誤しながら自分の作品を高めていきました。その過程で、「相互鑑賞」を設けました。お互いの作品を見合って良さを認め合ったり、改善点をアドバイスする場面です。その中で、素晴らしいことが起こりました。

ある生徒が自分の顔に塗った色について、「この〇〇色は元気な自分、〇〇は冷静な自分、そして、〇〇は明るい自分を表しています」と発表すると、クラス中から大きな拍手が起こりました。参観している先生方からも思わず拍手が起きました。日頃、自己表現する機会が少ない生徒でも、実は様々なことを思っていること、それを勇気をもって発表したことへの賞賛、その思いを共有できたことの喜びなどが混ざり合った瞬間でした。本校生徒の課題の一つ「自分を表現する力」を今後も伸ばしていきたいと思えます。

## <来週の予定>

日	曜	おもな行事
23	月	草中祭準備（特別日課）
24	火	3年実力テスト、SC 出役
25	水	部活動可
26	木	学校司書出役、ICT 出役、部活動なし
27	金	草中祭 部活動なし

## <今週のことは>

◎「月は太陽に照らされて光る  
 他者があって自分が光るという その深みに惹かれたのです  
 人とつながってこそ 自分がある  
 人生もそうありがたいですね」（宇宙飛行士 毛利 衛）  
 様々な個性をもった人がいて、お互いにつながり、支え合  
 って私達の幸福はあるのでしょうか。  
 宇宙飛行士の仕事は過酷で、超エリートとも言える毛利さ  
 ん。おごり高ぶらない謙虚さが素晴らしいです。